男女共同参画に関する市民意識調査の調査項目

資料6

	質問項目		県・市での調査項目								国（R6）
			H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	R4 石岡市	R6 茨城県	R8 石岡市	
Ⅰ 男女の地位の平等に関する意識について											
○	あなたは、次にあげる8つの分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。		○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(1)	家庭生活(家事・育児など)	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(2)	職場	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(3)	学校教育の場	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(4)	政治の場	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(5)	町内会、自治会などの住民組織	○	○	○	○	○	○		◎	★
	(6)	地域活動	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(7)	社会通念、慣習、しきたりなど	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(8)	法律や制度	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
	(9)	社会全体	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
○	今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことは何でしょうか。		○	○	○	○	○	○			
○	進路選択に影響を与えるもの										★
Ⅱ 男女の生き方や家庭生活などに関する考え、役割分担などについて											
○	次にあげる男女の生き方や家庭生活などに関する考えについて、あなたの考えをお聞かせください。		○	○	○	○	○				★
	(1)	「男（女）だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じこめてしまう	○	○	○	○	○				★
	(2)	社会の意識やそれに基づく制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない	○	○	○	○	○				★
	(3)	仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである	○	○	○	○	○				★
	(4)	男性も家事・育児に積極的に参加すべきである	○	○	○	○	○				★
	(5)	男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである	○	○	○	○	○				★
	(6)	女性は結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	○	○	○	○	○				★
	(7)	女性が仕事を持つのはよいが家事、育児もきちんとすべきである	○	○	○	○	○				★
	(8)	女性（妻）が仕事を持って、男性（夫）が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい	○	○	○	○	○				★
○	次にあげるような家事等を主に誰が分担していますか。また、家計費の管理等について最終的に決定しているのはどなたですか。		○	○	○	○	○	○			★
○	夫婦の家事分担割合の理想								○	◎	
○	夫婦の家事分担割合の現実								○	◎	
○	「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう思いますか。		○	○	○	○	○	○	○	◎	★
○	可処分時間									◎	
○	通勤・通学時間									◎	
○	「男は仕事、女は家庭」という考え方の理由（賛成・反対）										★
○	女性が職業を持つことについての考え方								○		
○	女性が職業を持つことについての考え方の理由								○		
○	男性が育児・介護・家事、地域活動に積極的に参加するために必要なこと										★
○	育児・介護・家事に関する外部サービス利用の考えと配偶者との役割分担										★
○	夫婦共働き世帯において女性のほうが育児・介護・家事の時間が長いことについてどう思うか										★
○	育児・介護・家事の時間を男女間でバランスをとれたものにするための必要な支援について										★
○	次にあげるア～エについて、あなたはどれくらい時間をかけていますか。平日、土曜、日曜それぞれの1日あたり平均時間をご記入ください。			○	○	○	○	○			
	(1)	家事		○	○	○	○	○			

男女共同参画に関する市民意識調査の調査項目

資料6

	質問項目		県・市での調査項目								国（R6）
			H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	R4 石岡市	R6 茨城県	R8 石岡市	
	(2)	育児		○	○	○	○	○			
	(3)	介護・看護		○	○	○	○	○			
	(4)	買い物		○	○						
	(4)	仕事						○			
Ⅲ結婚観・離婚観や子どもに関する考えについて											
○	結婚についてどう思いますか		○	○	○						
○	離婚についての次の考えをどう思いますか		○	○	○						
○	結婚や男女関係、家庭、子どもを持つことについてどう思いますか									◎	
○	近年、少子化が急速に進んでいますが、子どもの出生数のことでお伺いします。										
	(1)	あなたの理想とする子どもの数は何人ですか	○	○	○	○	○	○		◎	★
	(2)	実際の子どもの数又は実際に子育てできると思う数は何人ですか	○	○	○	○	○	○		◎	★
	(3)	「実際の子どもの数又は実際に子育てできると思う数」が、「理想の数とする子どもの数」よりも少ないと答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。	○	○	○	○	○	○		◎	★
Ⅳ仕事と生活の調査（ワークライフバランス）について											
○	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況について、理想はどうあるべきだと思いますか。また、実際はどうですか。			○	○	○	○	○	○	◎	
○	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況について、実際はどうですか。							○	○	◎	
○	男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。			○	○	○	○	○			
Ⅴ就業関係について											
○	就業における男女の地位は平等になっていると思いますか。（設問重複）										
	(1)	具体的な内容はどのようなことですか。						○	○	◎	
○	就業に関してお伺いします。次のことについてあなたはどう思いますか。		○	○	○	○	○				★
	(1)	仕事をこなす能力に対する男女差はあると思いますか。	○	○	○	○	○				★
	(2)	男性向き、女性向きの仕事内容はあると思いますか。	○	○	○	○	○				★
	職場における男女の地位は平等になっていると思いますか		○	○	○	○	○				★
○	上記の問で、1か2の「男性の方が優遇」又は4か5の「女性の方が優遇」に回答された方にお伺いします。その具体的な内容はどのようなことですか。		○	○	○	○	○				★
○	次の仕事へのかかわり方について、あなたはどうお考えですか。		○	○	○		○				
	(1)	女性は結婚するまでは、仕事を続けた方がよい	○	○	○		○				
	(2)	女性は子どもができるまでは、仕事を続けた方がよい	○	○	○		○				
	(3)	女性は子どもが生まれても、ずっと仕事を続ける方がよい	○	○	○		○				
	(4)	女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい	○	○	○		○				
	(5)	女性は仕事を一生持たない方がよい	○	○	○		○				
	(6)	男性は家族を支えるため、仕事を中心に生活した方がよい	○	○	○		○				
	(7)	男女問わずフルタイムの仕事よりは、自由時間の多いパートの仕事の方がよい	○	○	○		○				
	(8)	男女問わず家庭・家族との触れあいが充実することで仕事にも良い影響を与えると思うから、うまくバランスをとりながら生活した方がよい	○	○	○		○				
	(9)	男女問わずできることなら仕事よりも家庭・家族との時間を大切にした方がよい	○	○	○		○				
○	あなたは中途で仕事を辞めた経験がありますか。		○	○	○	○	○	○			★
○	上記の問で、1の「ある」と答えた方にお伺いします。仕事を辞めた主な理由は何ですか。		○	○	○	○	○	○			★

男女共同参画に関する市民意識調査の調査項目

資料6

	質問項目	県・市での調査項目								国
		H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	R4 石岡市	R6 茨城県	R8 石岡市	（R6）
○	上記の問で、1の「ある」と答えた方にお伺いします。仕事を辞めたあと、再就職しましたか。				○	○				
○	女性が起業（会社を興したり、お店を開いたりすること）することについてお伺いします。女性がどんどん起業して社会に出ていくべきだと思いますか。	○								
○	上記の問14で、1の「そう思う」と答えた方にお伺いします。そう思う理由は何ですか。	○								
○	あなたの事業所におけるワークライフバランスの進み具合								◎	
○	女性が出産後も退職せずに働き続けるために重要なこと							○		
○	子どもを持つ男女が退職せずに働き続けるために重要なこと								◎	
○	女性が出産後も退職せずに働き続けるために重要なことのうち、最も重要だと思うこと							○		
○	子どもを持つ男女が退職せずに働きつづけるために、最も重要だと思うこと								◎	
○	女性が働き（起業し）やすくするためにはどんなことが必要だと思いますか。	○	○	○		○	○			
○	将来目指したい役職							○		
○	管理職・役員を目指さない理由							○		
○	管理職になって良かったと感じること							○		
○	女性管理職の増加に向けて必要な制度や支援							○		
Ⅵ地域活動・社会参画について										
○	あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動はしていますか。	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
○	上記の問で、1の「している」と答えた方にお伺いします。それはどのような活動内容（分野）ですか。	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
○	議員や審議会委員など、政策方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどう思いますか。			○		○	○	○	◎	
○	政策方針の決定の場に女性が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に重要だと思うものを選んでください。			○		○				
Ⅶ女性の人権、ﾄﾞﾒｽﾃｨｯｸ・ﾊﾞｲｵﾚﾝｽ(DV(配偶者・恋人等からの暴力))について										
○	対策が必要なもの									★
○	女性の人権が尊重されていないと感じる点はどのようなことですか。	○	○	○						
○	配偶者（元配偶者も含む。）や恋人から暴力（下記19－2のようなこと）を受けた経験はありますか。	○	○	○	○	○	○			★
○	上記の問で1の「ある」と答えた方にお伺いします。それはどのようなことですか。	○	○	○	○	○	○			★
○	上記の問で1の「ある」と答えた方にお伺いします。あなたは、配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。			○	○	○	○			
○	あなたが、自力では解決できない困難な問題として直面したことがあるものは何ですか。								◎	
○	上記の問題について誰かに相談しましたか。誰に相談しましたか。								◎	
○	「相談しなかった」と答えた方におうかがいします。どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。			○	○	○			◎	
○	知っている相談窓口								◎	★
○	相談窓口の認知度向上のために効果的だと思う周知方法									★
○	相談窓口で配慮してほしいこと									★
Ⅷ LGBTQ等の性的指向の多様性について										
○	LGBTという言葉の意味を知っていますか。						○			
○	性的指向に関する言葉の意味を知っていますか。								◎	
○	性的少数者の人権を守るため、どういった取り組みが必要だと思いますか。						○		◎	
Ⅸ男女共同参画社会について										
○	次にあげる言葉や施策等の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものすべてに○印をつけてください。	○	○	○	○	○	○			★
○	SDGsの中に「ジェンダー平等を実現しよう」という目標が盛り込まれていることをご存じですか。						○			

男女共同参画に関する市民意識調査の調査項目

資料6

質問項目		県・市での調査項目								国（R6）
		H19 石岡市	H21 茨城県	H23 石岡市	H26 茨城県	H28 石岡市	R4 石岡市	R6 茨城県	R8 石岡市	
○	男女共同参画社会を実現するためには、行政（国・県・市）は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。	○	○	○	○	○	○	○	◎	★
○	石岡市では、平成18年4月から男女共同参画条例を施行していますが、あなたはこの条例の内容をご存知ですか。	○		○		○				
○	男女平等や男女共同参画などについて普段感じていること、市へのご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入下さい。	○	○	○	○	○	○		◎	
○	県の男女共同参画を推進する施設「女性プラザ男女共同参画支援室をご存知ですか。		○		○					
○	あなたは、男女共同参画を推進するための拠点施設に対して、どのような役割を期待していますか。		○		○					
○	夫婦の名字・姓について									★
	設問数	56	62	65	50	62	39	27	36	48